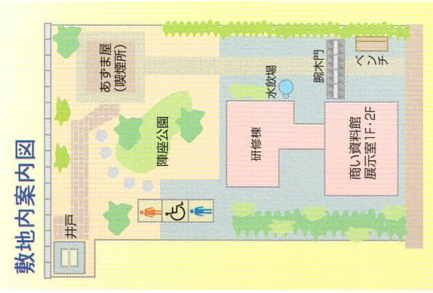
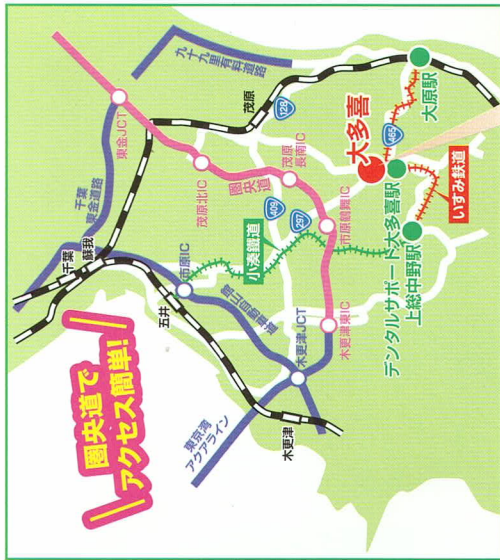


商い資料館

陣座公園

大 多 喜
おぼろ 房総の小江戸



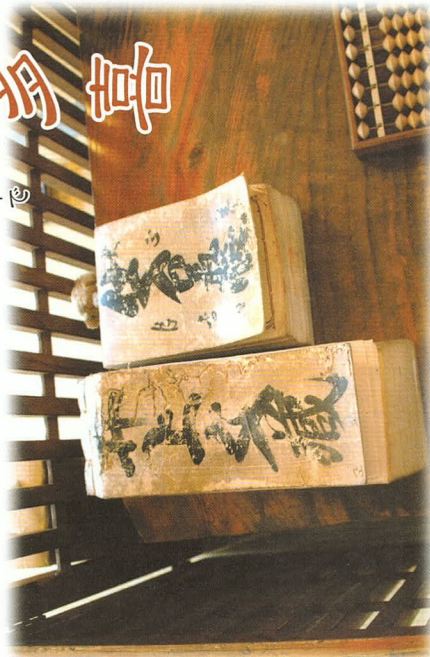
商い資料館 陣座公園

千葉県夷隅郡大多喜町久保153-1
お問い合わせ先 大多喜町観光協会
TEL 0470-80-1146

開館 9:00~17:00 (11月~2月 9:00~16:00) 入館無料
休館日 年末・年始のみ (12月29日~1月3日)

商人の町 大多喜

大多喜城の城下町として栄え
明治・大正・昭和・平成と時の流れの中
令和へと伝え続けられてきた
大多喜商人の心算氣
そしてそれを支えてきた道具の数々
また 庶民の生活を支えてきた品々
ある年代の方には
懐かしさと 心やすらぐ時を
若人には、
先人の生活の知恵と
毎日を心豊かに過ごすわざを
感じていただければ幸いです



小林一茶と南房総

江戸時代の有名な俳人である小林一茶は、南房総歴史の古い、大多喜町城の石神村某家に立ち寄り、たのめらしく、「山中に榮く暮らす武の下」という句の短冊がのこっている。

この短冊のうちには、南総歴史のみぎり、と記されている。また、大多喜城下の田子にある円照寺の金比羅堂奉納額に「散る花をすくむにけり 風の中 一茶」とある。同じく大多喜城下久保町の商家渡邊家に、一茶の句「松がせに寝て参る 六十四州かな」の短冊がある。